公立阿伎留医療センター
「肥満症・MASH治療の臨床応用」
外部講師講演会

肥満症およびMASH治療に関する最新エビデンスと診療連携を
解説する医療関係者向け講演会の案内および事前参加申込の促進

日時：12月8日（火）
18:00～19:00

会場：公立阿伎留医療センター　地下1階講堂

開催概要と登壇者

演者
玉城 信治 先生
武蔵野赤十字病院
消化器内科副部長

座長
大久保 具明 先生
当医療センター副院長
循環器内科部長

講演内容要旨

MASH・肥満症治療における最新エビデンス
第3相ESSENCE試験に基づくセマグルチドの肝線維化およびMASHの効果

診療連携と非侵襲的評価による早期集学的治療
代謝異常・心血管リスクを伴うMASHに対する循環器・消化器・代謝内科の連携

事前参加申込案内

参加フォームURL（QRコード）より事前申込み
URL: https://chat.google.com/room/AAQA-1dcQnQ/cSrOr8lcHXrc/cSrOr8cHXrc?cls=10

共催：ノボノルディスクファーマ株式会社／公立阿伎留医療センター
問合せ：公立阿伎留医療センター 地域連携課

Gamini Notebook

2026.11

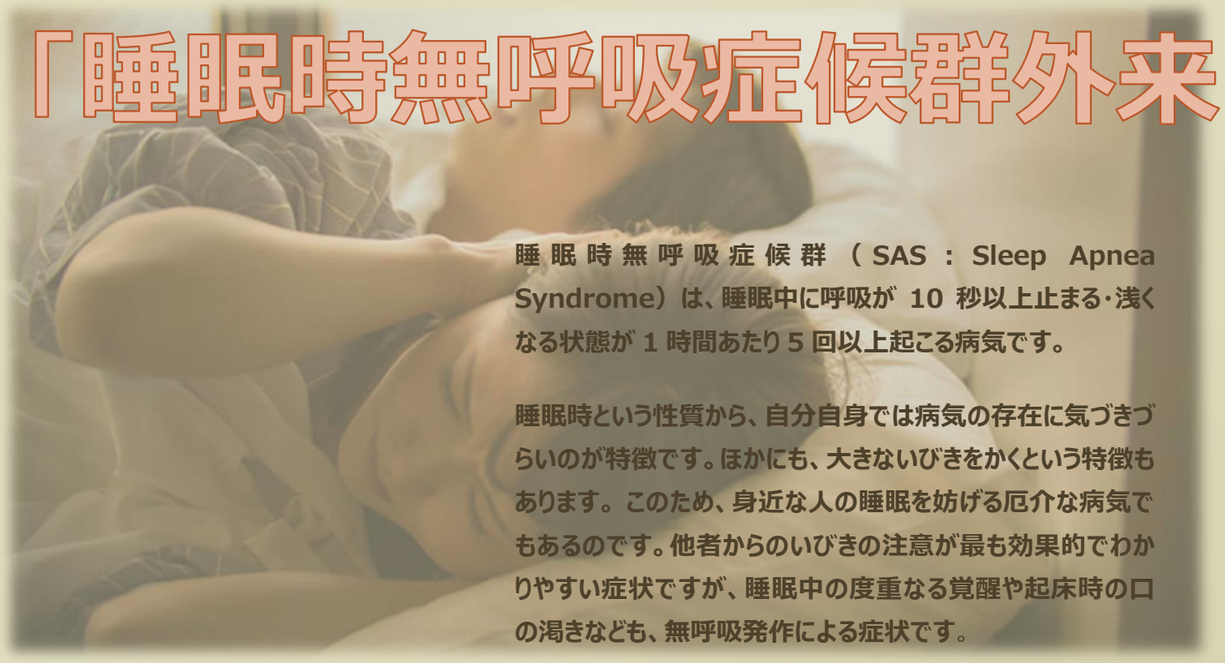
No.122

「睡眠時無呼吸症候群外来」

「サルコペニア外来」



「睡眠時無呼吸症候群外来(SAS 外来)」再開しています



睡眠時無呼吸症候群（SAS：Sleep Apnea Syndrome）は、睡眠中に呼吸が 10 秒以上止まる･浅くなる状態が 1 時間あたり 5 回以上起こる病気です。

睡眠時という性質から、自分自身では病気の存在に気づきづらいのが特徴です。ほかにも、大きないびきをかくという特徴もあります。このため、身近な人の睡眠を妨げる厄介な病気でもあるのです。他者からのいびきの注意が最も効果的でわかりやすい症状ですが、睡眠中の度重なる覚醒や起床時の口の渇きなども、無呼吸発作による症状です。

睡眠時無呼吸症候群（SAS）受診と検査の流れ

診断に至る2ステップ検査フロー

月・火・金曜の循環器内科外来もしくは
耳鼻科外来を受診してください



Step 1：簡易型アプノモニター（簡易検査）
自宅で機材を使用し、呼吸状態や血中酸素濃度を測定。

Step 2：ポリソムノグラフィー／PSG（精密検査）
1〜2泊の入院で脳波・心電図を追加し、無呼吸状態を精密検査。

検査後の保険適用と貴院での治療移行

健康保険適用

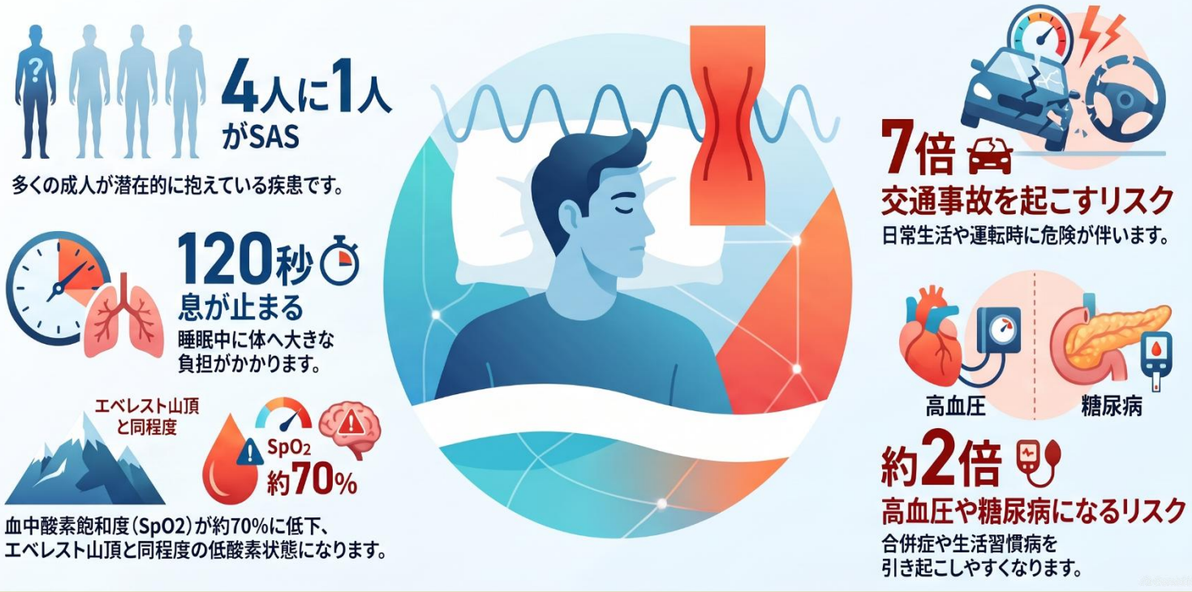
PSG検査で基準を満たすと「健康保険」が適用
精密検査の結果に基づき、公的医療保険の対象となります。

ご紹介いただいた「貴院」でのCPAP療法・定期外来が可能
貴院にて定期的な外来通院やCPAP療法の継続管理を行っていただけます。



数字で見る睡眠時無呼吸症候群（SAS）の危険性

睡眠時無呼吸症候群（SAS）は日本の成人男性の多くに見られる疾患であり、睡眠中の深刻な低酸素状態を引き起こすだけでなく、交通事故や生活習慣病のリスクを飛躍的に高めます。



睡眠時無呼吸症候群を発症することによって、心筋梗塞や脳卒中などの合併症を呼び、命に関わる例も少なくありません。日中のだるさや倦怠感は積み重なることでストレスとなり、精神疾患を患う危険性も考えられます。十分な睡眠時間を確保しているにもかかわらず眠気が取れないと感じている方は、睡眠時無呼吸症候群を疑う必要があるでしょう。

■ 患者さんのご紹介方法



① 当院へ FAX を送る

紹介状を地域連携課まで FAX ください。

■紹介状は貴院の書式で問題ございません。

■予約希望日は患者さんとの調整も可能です。お気軽にご相談ください。

② 当院から予約日をご案内する

ご希望される診療科の予約が取れましたら、当院より貴院へ予約票を FAX にて返信いたします。

■ 地域連携課

TEL 042-558-0601(直通)　042-558-0321(代表)

FAX 042-550-5190　受付）平日：8:30〜17:15

※FAX は 24 時間送付可能ですが、受付時間外の予約票の送信は翌日または休み明けの対応になります

「サルコペニア外来」 で寝たきり・転倒を予防しましょう

サルコペニアとは

サルコペニアとは、筋肉が減少したり、筋力が低下したりする状態のことを指します。サルコペニアの一番大きな原因は「加齢」です。ほかには「運動不足」「栄養不足」「病気による消耗」があげられますが、この状態になると、立つ、歩くといった日常生活に必要な基本的動作が難しくなり、転倒による骨折や病気にかかりやすくなるリスクが高まります。

また、サルコペニアを放置すると、寝たきりや要介護の原因となり、健康寿命を縮める原因になると考えられています。疲れやすい、歩くのが遅くなった、転びやすくなった、やせてきた、重いものが持てない、などサルコペニアの症状を訴えている方には「サルコペニア外来」の受診をおすすめします。

サルコペニアの市民公開講座を行いました

サルコペニア外来開始に先駆けて、7 月 24 日に市民公開講座『今だから知っておきたい「サルコペニア」の話』を開催しました。特に秋川流域の高齢化率は顕著であるため、地域住民のみなさまも非常に高い関心を示されました。

公開講座にご参加いただいた方から、右記のようなご意見を多数頂戴いたしましたのでご紹介いたします。



サルコペニア外来について（金曜日 15 時 30 分～）

この度、当医療センターでは日本大学医学部リハビリテーション医学分野新見昌央教授をお招きし、「サルコペニア外来」を開始することとなりました。サルコペニア外来では下記のような流れで診療を行います。また、診療期間はおおむね半年程度で、診療期間終了後は貴院へ逆紹介させていただきます。

「サルコペニアを予防したい」「栄養摂取や運動の方法がわからない」「病気が隠れていないかチェックしてほしい」などのご希望がある患者さんがおられましたら、ぜひご紹介ください。

IN BODY 測定 → 診察 → 採血、ECG、CT検査 等 → 運動療法、栄養相談

サルコペニア講座 参加者の声：生活への活用と「サルコペニア外来」への期待

公立阿伎留医療センター市民公開講座（参加者47名・アンケート回収率100%）の結果まとめ。
参加者の予防意欲、新外来への期待、将来の健康テーマに対する関心を可視化。

秋開設予定の「サルコペニア外来」に対する高い受診意欲と期待



受診を希望する声や具体的な案内を求める意見が数多く寄せられました。

食事（たんぱく質）と運動（ストレッチ・徒歩）による予防行動の定着



栄養の重要性を納得し、日常に運動や体重測定を取り入れる意識が高まりました。

肩こり体操・認知症・神経症状など多岐にわたるテーマへの高い関心



肩こり体操、アルツハイマー、ミオクローヌス等の講座開催が望まれています。

視覚的で分かりやすい解説の継続と受講環境の向上



映像や資料の評価が高い一方、メモ用テーブル設置等の要望もありました。

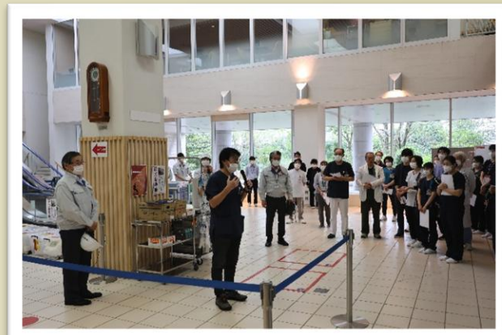
※予約可能なお日にちに関しては、紹介状のある方は地域連携課（直通☎042-558-0601）
紹介状のない方は医事課（代表☎042-558-0321）までお問合せください。

防火防災・災害訓練を実施しました















１０月４日日曜日、公立阿伎留医療センター消防計画第９条の規定により、平日午前 9 時 15 分に立川断層帯地震で、あきる野市でマグニチュード 7.3、震度 5 強の地震が発生したと想定し、あきる野市日の出町の関係職員の方々及び秋川消防署の方々、地域の医師会・歯科医師会の先生方など、地域の皆様のご協力のもと、防火防災・災害訓練を実施しました。災害対策本部及び緊急医療救護所を立ち上げ、医師、看護師、医療スタッフにより負傷者の対応や消火活動を行い、予期せぬ災害に備える有意義な訓練となりました。ご協力いただきました皆様にはこの場をお借りして、御礼申し上げます。

市町村災害医療コーディネーター部会長　救急外来医師　雅楽川聡

健康のつどいに参加しました

あきる野市ルピアにて開催された「健康のつどい」に参加させていただきました。健康のつどいは、あきる野市健康のつどい運営委員会とあきる野市の主催で開催される健康づくりに関するイベントです。当院のブースは、武井院長方の医師による医療相談、看護師による看護相談や栄養科による栄養相談を行いました。

健康のつどいでは、地域の皆さまから食生活に関するさまざまなご相談をお受けしました。直接お話しする中で、食事に関するお悩みだけでなく、病院へのあたたかなお気持ちを伺う機会にもなり、今後も皆さまの健康づくりに貢献していきたいと改めて感じました。（栄養科　小針）







【地域連携センター紹介 Vol.1】 PFM ﾁｰﾑ

PFM とは Patient flow Management の略で、病院内のつながりはもちろん、地域とのつながりで切れ目のない医療を提供する仕組みのことです。

PFM では、患者さんが安心して入院生活を過ごせるよう、入院前から生活背景や既往歴、服薬状況、不安や要望などを把握し、療養生活に向けた準備を支援する役割を担っています。看護師４名体制で患者さんやご家族への丁寧な対応を心がけるとともに、認定看護師、薬剤師、栄養士など多職種との情報共有を通じて、一人ひとりに応じた切れ目のない医療・看護の提供につなげています。（看護師　遠藤）



●患者家族面談対応時間（予約制）：
９時００分～16 時００分（適宜緊急入院も対応）
●業務内容：
①アナムネ聴取
②入院前からの生活に関する説明
③入院、手術、退院後に関する相談
④入院時の物品説明から退院までの一連の流れ
⑤栄養評価/褥瘡リスク評価
⑥他職種情報共有（薬剤師、栄養士、リハビリなど）
⑦外部連携（ケアマネージャー、施設など）
※患者さんの不安な事などご相談にも対応しています